

令和元年度（2019年度）
熊本市献血推進協議会

日時 令和元年（2019年）9月24日（火）
14時～

場所 ウェルパルクまもと 4階会議室

熊本市保健所 医療政策課

目次

I 平成30年度献血推進事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・P1~2

II 令和元年度（2019年度）献血推進事業計画・・・・・・・・P3

《 資 料 》

1 献血の実績等について

(1) 熊本市の献血量および献血者数の推移・・・・・・・・P4

(2) 熊本市の年代別献血者数の推移・・・・・・・・P4

2 参考資料

(1) 市政だより

平成30年5月号と平成30年10月号・・・・・・・・P5

I 平成 30 年度献血推進事業報告

1 熊本市献血推進協議会

日 時：平成30年11月30日（金）14時～15時

場 所：ウェルパルクまもと4階会議室

出席者：委員5名

熊本県赤十字血液センター関係者・熊本市保健所医療政策課

職員

2 普及啓発

(1) 校区献血の実施日時等の広報

・町内自治会等を通じてポスターの掲示及び各家庭へチラシの回覧を依頼

・熊本市ホームページ・スマホ・携帯電話に献血啓発記事の掲載

(2) 普及啓発キャンペーン時のポスター等を市関係部署（熊本市役所本庁・各区役所・総合出張所・出張所）へ配布

	キャンペーン内容	実施内容	キャンペーン期間
1	平成30年度「献血デビューキャンペーン」	ポスター掲示、チラシ配布	平成30年5月1日～平成30年9月30日
2	日本赤十字社第13回「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」	ポスター掲示、チラシ配布	平成30年6月14日～平成30年10月31日
3	平成30年度熊本県「愛の血液助け合い運動」	ポスター掲示	平成30年7月1日～平成30年7月31日
4	「One More 400 献血キャンペーン」	ポスター掲示	平成30年10月1日～平成31年3月31日
5	平成31年「はたちの献血キャンペーン」	ポスター掲示	平成31年1月1日～平成31年2月28日

(3) セミナー開催依頼

市内の2高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発、高校

献血の復活を直接出向いて依頼した。（東陵高校（6/28）と済々黌（7/6））

(4) 広報

(市政だより)

① 平成 30 年 5 月号

内容：ゴールデンウィーク中の献血のお願い

② 平成 30 年 10 月号

内容：骨髄バンクに登録を～10月は骨髄バンク推進月間～

(ラジオ)「FM 熊本アイ・ラブ・ウーマン」で放送

	放 送 日	内 容
1	平成 30 年 4 月 24 日 (火)	ゴールデンウィーク中の献血のお願い
2	平成 30 年 6 月 19 日 (火)	臓器移植と骨髄バンクについて
3	平成 30 年 9 月 4 日 (火)	10 月は骨髄バンク推進月間です
4	平成 30 年 11 月 20 日 (火)	臓器移植について
5	平成 30 年 12 月 11 日 (火)	年末年始の献血のお願い
6	平成 31 年 1 月 8 日 (火)	冬季献血のお願い、はたちの献血キャンペーン
7	平成 31 年 3 月 19 日 (火)	献血のお願い

(5) 厚生労働大臣感謝状表彰団体の紹介

表彰し、市のホームページに掲載

表彰団体：金剛株式会社

Ⅱ 令和元年度（2019年度）献血推進事業計画

1. 熊本市献血推進協議会

日 時：令和元年（2019年）9月24日（火） 14時～

場 所：ウェルパルクまもと4階会議室

2. 普及啓発

（1）校区献血の実施日時等の広報

- ・毎月、校区献血が行われる地域のポスターとチラシを作成し、町内自治会等を通じてポスターの掲示及び各家庭へチラシの回覧を依頼（献血実施日の1ヶ月前に送付予定）
- ・医療機関、企業、ライオンズクラブ、市関係部署への協力依頼
- ・ホームページ・スマホ・携帯電話に校区献血実施場所等の随時掲載

（2）一般市民への普及啓発

- ・市政だよりへ啓発記事の掲載
- ・市職員用電子掲示板へ、献血協力依頼や啓発等
- ・ラジオ広報：「FM 熊本アイ・ラブ・ウーマン」で放送

（3）普及啓発キャンペーンのポスターや冊子等の市関係部署（熊本市役所本庁・各区役所・まちづくりセンター）への設置

（4）セミナー開催依頼

市内全高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発、
高校献血
の復活を直接出向いて依頼する。

（5）献血フェスタ 2019 への参加（初）

令和元年（2019年）5月24日～25日にビブレス広場で開催された献血フェスタ 2019 を市が後援し、血管年齢測定器と骨密度測定器を熊本県国民健康保険団体連合会から借用して集客を図り、献血推進活動を行った。

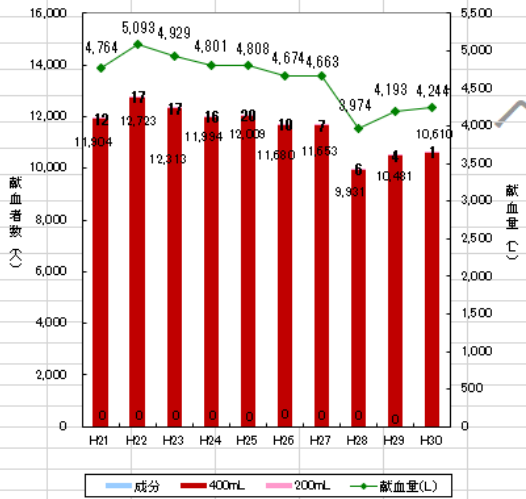
（参加者；5月24日 血管年齢測定 110人+骨密度測定 84人）

（参加者；5月25日 血管年齢測定 164人+骨密度測定 134人）

(1) 熊本市の献血量および献血者数の推移

(移動採血車による献血のみ)

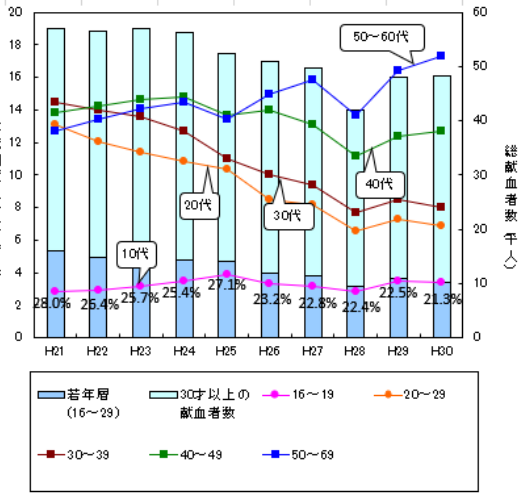
年度	献血者数			献血量(L)
	400mL	200mL	成分	
H21	11,904	12	0	4,764
H22	12,723	17	0	5,093
H23	12,313	17	0	4,929
H24	11,994	16	0	4,801
H25	12,009	20	0	4,808
H26	11,680	10	0	4,674
H27	11,653	7	0	4,663
H28	9,931	6	0	3,974
H29	10,481	4	0	4,193
H30	10,610	1	0	4,244



(2) 熊本市の年代別献血者数の推移

(200mL献血・400mL献血・成分献血、移動採血車・固定ルームすべて含む)

年齢区分	16~19才	20~29才	30~39才	40~49才	50~69才	合計 (総献血者数)
H21	2,811	13,134	14,436	13,809	12,689	56,879
H22	2,908	12,018	14,020	14,244	13,390	56,580
H23	3,168	11,436	13,560	14,646	14,093	56,903
H24	3,446	10,846	12,693	14,812	14,471	56,268
H25	3,885	10,316	11,005	13,689	13,426	52,321
H26	3,287	8,517	10,051	14,021	14,991	50,867
H27	3,130	8,193	9,400	13,099	15,841	49,663
H28	2,835	6,557	7,650	11,172	13,693	41,907
H29	3,519	7,304	8,494	12,373	16,388	48,078
H30	3,392	6,909	8,011	12,691	17,319	48,322



市政だより（平成30年5月号）

● ゴールデンウィーク中の献血にご協力を

血液製剤は血小板製剤などのように有効期限が採血後4日間と非常に短いものもあり、常に多くの方々からの献血が必要です。

▶ **場所** 日赤プラザ献血ルーム(東区長嶺南2丁目1-1) ☎384-6727
下通り献血ルームCOCOSA(下通NSビル5階) ☎325-9218

ゴールデンウィーク期間中の献血ルームの開所日時は、熊本県赤十字血液センターホームページへ。

(医療政策課 ☎364-3186)

市政だより（平成30年10月号）

● 骨髄バンクに登録を ～10月は骨髄バンク推進月間～

正常な血液が作られなくなってしまう白血病や再生不良性貧血などの血液疾患。これらの病気は子どもから高齢者まで幅広い年代の人が発症しており、日本では毎年多数の方が新たに発症し、そのうち約2,000人が骨髄移植を望んでいます。約半数の患者さんは移植を受けられない現状です。

こうした血液の病気を根本的に治療する有効な方法が、患者の骨髄を健康な人(ドナー)から提供された骨髄に置き換える「骨髄移植」です。

赤十字血液センターが行っている献血会場で登録をお願いします。

(医療政策課 ☎364-3186)